

●自然教室「地学散歩」～地質調査をつくろう!～

地学に興味のある初心者を対象に、丹沢の岩石や化石について野外で観察しながら学びます。

実施日:7月26日(土)
時間:9:10~16:00
場所:山北駅前集合、山北駅解散
対象:小学4年生以上30名
(応募多数の場合は抽選)
参加費:1人300円
締切:7月12日(土)



*講師:門田真人氏
(神奈川県立生命の星・地球博物館 外来研究員)
*共催:山北町

●自然教室親子のための「川あそび入門」

親子で川遊びにチャレンジ!
川あそびの楽しみ方と川の危険の両方を学ぼう!

実施日:8月3日(日)
時間:9:30~15:00
場所:丹沢湖周辺の沢
募集人数:30名(応募多数の場合は抽選)
参加費:1人300円
締切:7月19日(土)

県立ビジターセンター
もよおし案内

宮ヶ瀬ビジターセンター

【〒259-0202 清川村宮ヶ瀬940-15
TEL 046-288-1373 FAX 046-288-1162】

●自然教室「川の生きもの観察会!」

宮ヶ瀬の沢で水辺の生きもの観察をしてみませんか?

実施日:7月19日(土)
時間:10:00~15:30頃(受付開始9:30)
対象:小学生とその保護者
募集人数:30名(応募多数の場合は抽選)
参加費:1人300円(資料代・保険代)
締切:7月7日(月)

交通機関:小田急線本厚木駅からバスで
宮ヶ瀬行8:40
乗車時間60分 片道料金650円
お車の場合 近隣駐車場500円

●企画展

「丹沢の動物たちがやってきた!」

ジオラマの夜の森に丹沢の動物たちが大集合!

開催期間:7月20日(日)~9月23日(火)
場所:丹沢湖ビジターセンター1階
開館時間:8:30~16:30



** 自然教室申込み方法 **

往復はがきかFAX(変身FAX番号明記)に、行事名、参加者全員の氏名、年齢、性別、住所、電話番号を明記して、各施設へ締切日必着でお送りください。詳しくは返信でお知らせします。

ビジターセンターにてかけてみよう!

丹沢大山国定公園や神馬自然公園には、このたよりで紹介しているビジターセンターがあります。自然公園の窓口として、登山コースの案内や季節の花や鳥などの旬の自然情報の提供、自然とふれあう様々な体験教室を実施しています。テーマを絞った企画展も必見です。雨降りの季節、展示をゆっくり見学してみませんか。丹沢や神馬の自然の不思議を再発見できるかもしれません。スタッフ一同、お待ちしております。

編集・発行 この通信を下記のホームページで見ることが出来ます。
財団法人 神奈川県公園協会自然公園課
〒231-0027横浜市中区扇町3-8-8開内ファーストビル6階
TEL:045-651-0931(都市公園課・自然公園課) FAX:045-651-0932
自然公園課:sizenkouen@kanagawa-park.or.jp ホームページ http://www.kanagawa-park.or.jp/

編集後記
丹沢の雑誌では、ヤマツツジやトウゴクミツバツツジなど
山のツツジたちが見ごろをむかえています。
ツツジ情報をビジターセンターで発信しています。

秦野ビジターセンター

秦野市堀山下1513
TEL 0463-87-9300



アジノ(オス)



イカル



キビタキ(オス)

♪聞きなし♪

新緑もほほ出揃い、緑がまぶしく、木陰が涼しく感じられる季節になりました。そんな新緑の中をゆっくりと歩くとたくさんの"音"が聞こえてきます。鳥たちのさえずり、虫の声、木々のざわめき、動物たちの足音、水音…。

鳥たちのさえずりは、その声を人の言葉に置き換えて聞く『聞きなし』という方法で表現されることがあります。

例えば、ウグイスの「法華華経(ホ〜ホケキョ)」やホトトギスの「東京特許許可局」など。有名なものもたくさんあります。でも、『聞きなし』はその人によって聞こえ方が、ずいぶん異なります。

先日、キビタキの声を聞いていました。私の友人はこの声を「キビタキ、キビタキ」と聞きなしします。しかし、その日の私には「ネエチヨット・モッテッテ・モッテッテ」…。それ以来、キビタキの声は「モッテッテ」や「モッテケテ」と聞こえてしまいます。他にも、イカルの声を「なんかちよ〜だ〜い」と聞いてみたり、ホオジロはやっぱり「サッポロラーメン・ミソラーメン」です。

鳥たちの声には、『聞きなし』がありますが、ぜひ、いろいろな自然の中の音に耳を済ませて、あなただけの言葉にしてみてください。

一人で笑ってみたり、誰かと聞きなししあってみるのも結構楽しいですよ!

宮ヶ瀬ビジターセンター

清川村宮ヶ瀬340-15
TEL. 046-288-1373

梅雨空のハイキング

6月といえば梅雨入り。丹沢は谷がとても多いので、山間に霧が立ちこめる姿や雨に洗われた緑もお勧めの景色です。

梅雨空のハイキングには実は良い点があります。曇り空やしとしと雨の中では、野鳥の声が大きく多く聞こえるように感じます。また意外と近くに姿を現してくれるのです。低い雲で音が散らないからか？ハイカーが少なく野鳥も安心して出てくるからか？雨の音に負けずと大きな声で鳴くの？理由はよく分かりません。



ジャックツイバラ



6月はまだまだきれいなさえずりが聞こえる時期です。当センターのおすすめコースの一つでもある早戸川林道では、姿も声も美しい青い鳥オオルリの声がよく聞かれます。湖に面した山際なので、山・水辺・大空を飛び鳥と幅広く観察できるチャンスがあります。

ヤマビルが多くなる季節ですが、このコースは比較的心配いりません。

コースや自然の情報収集に是非ビジターセンターにもお寄り下さい。

(柳川)



陣馬自然公園センター

藤野町佐野川1659-3
TEL. 0428-87-5270

「初夏の陣馬」

陣馬周辺の山々は新緑の季節を迎えました！林の中はまだ明るく、木洩れ日は足元にまで届き、散策しながらの登山には最高の季節です。

陣馬山への登山道脇ではシュンラン・ヒトリシズカ・ヤマツツジなどが咲き、生藤山に向かう登山道ではテンの姿やアオバトも見ることができました。

空模様は日差しの強い日や肌寒い雨の日と、目まぐるしく変わりましたが、自然の営みは着実に進んでいます。

センター周辺では、次第に木々の緑も濃くなり、近くの林からはウグイスも上手な鳴き声を響かせ



オニグルミ（雄花）



オニグルミ（雌花）

ています。茶畑では茶摘みが始まりました。谷間には、マルバウツギ・ヒメウツギ・ミズキ・フジそしてオニグルミの花々が爽やかさを添えています。

次第に、春から夏へと移り変わっていく陣馬の自然を味わいに、是非足を運んでみてください。

(荒井)



新緑の中のヤマツツジ

丹沢湖ビジターセンター

山北町五倉515
TEL. 0465-78-3888

「ウツギいろいろ」

ウツギ（空木）と名のつく木はたくさんあります。ビジターセンターの周りでも、ヒメウツギに始まり、マルバウツギ、ニシキウツギ、カナウツギ、ガクウツギ、ウツギなど、慣れるまでは名前と葉を一致させるのが大変です。

今日は、その中からニシキウツギ（二色空木）、ガクウツギ（懸空木）についてご紹介します。この二種を比較してみると、見た目好みの環境もだいぶん違うようです。

ニシキウツギは、開花したばかりは白色で次第に赤色に変わっていきます。花の色が二色なので、とても華やかな印象を受けます。丹沢湖周辺の日当たりのよいところで普通に見ることができます。

一方、ガクウツギは花びらのように見える白い装飾花を持ち、物静かな雰囲気です。湿った沢沿いの斜面でよく見ることができます。

植物の名前を覚えたいという方が多くいらっしゃいますが、丹沢には1600種類以上の植物が確認されており、それを全て覚えるは至難の業です。



テーマを決めてのんびり観察しながら少しずつ覚えていきませんか？

箱根の森から

箱根部より

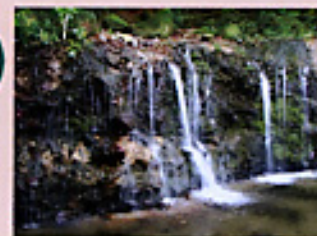
地層が作る滝

新緑の季節。沢や滝など水辺が心地よい季節になりました。新緑に映える滝の数々も、実は、箱根の火山活動とつながりがあるってご存知ですか？箱根と言えば、火山。温泉。

幾度となく噴火を繰り返し、形作られてきた箱根の山々では、登山道沿いに溶岩や土石流の跡を見ることが出来ます。そんな火山の活動で長年の間に積み重なった地層。水を通ず地層と粘土質の水を通しにくい地層の間からこんこんと豊富な水が流れ落ちてくるのです。

豊富な地下水を支えているのが、豊かな森。5月中旬、小涌谷千歳の滝上流では、足下の小さな芽生えから若木、キツツキが穴をあけ、苔むした老木など…年齢層も種類も様々、多様な植物が若葉に輝いていました。

マイナスイオンいっぱいの初夏の森と滝めぐりにかけてみませんか？



千歳の滝（ちすじのたき）



千歳の滝の上流に広がる森

沢沿いで
みつけました



クワガタソウ



コチャルメルソウの実
チャルメウの形に
見えるかな？

(長縄)